

第 4 回 館山市議会定例会会議録  
(第 4 号)



1 昭和59年12月21日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 神田 守隆	2 番 田沢 勝信
3 番 山中金治郎	4 番 日下 君敏
5 番 川名 正二	6 番 生稻 隆
7 番 榎本 春光	8 番 小宮 利夫
9 番 福原 勤	10 番 横溝 功
11 番 飯田 義男	12 番 石井 謀
13 番 石井 昌治	14 番 伊藤幸太郎
15 番 渡辺 昭夫	16 番 松下 正己
17 番 近藤 好雄	19 番 黒川 平治
20 番 石井 武敏	21 番 吉田勇治郎
22 番 林 豊	23 番 伊賀 多朗
24 番 流山源次郎	25 番 五十嵐 昇
26 番 石井 正	27 番 安西 益男
28 番 安澤 徳順	

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

第1号に農業委員会会長を加える

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第4号)

昭和59年12月21日午前10時開議

日程第1	議案第54号	非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第66号	千葉県自治センター規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
	議案第69号	昭和59年度館山市一般会計補正予算(第3

号)

- 日程第2 { 議案第67号 館山市乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第70号 昭和59年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 日程第3 { 議案第68号 市道路線の認定について  
議案第71号 昭和59年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算(第1号)
- 日程第4 { 請願第6号 租税教育の推進に関する請願書  
請願第9号 公費負担医療の充実、高額医療費の委任払いの実施、国民健康保険料の引上げをおこなわないことを求める請願書
- 日程第5 議案第72号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第6 { 議案第73号 昭和59年度館山市一般会計補正予算(第4号)  
議案第74号 昭和59年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)  
議案第75号 昭和59年度館山市ユースホステル特別会計補正予算(第1号)
- 日程第7 議案第76号 人権擁護委員候補者の推薦について

開 議 午前10時20分

○議長(石井 正君) 本日の出席議員数27名、これより第4回市議会定例会第4日の会議を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議案を配付いたさせます。配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第1、議案第54号及び議案第66号、議案第69号の各議案を一括して議題といたします。

#### 総務委員会委員長報告

○議長（石井 正君） ただいま議題となりました議案第54号は第3回市議会定例会において継続審査に付されたものであり、議案第66号及び議案第69号の各議案はともに去る12月18日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長横溝 功君。御登壇願います。

（総務委員会委員長横溝 功君登壇）

○総務委員会委員長（横溝 功君） 去る9月18日開会の本会議におきまして総務委員会に付託され継続審査中の議案第54号及び12月18日の本会議におきまして付託されました議案第66号並びに議案第69号につきましては、19日総務委員会を開催し、慎重なる審査をいたしました。ここに審査の経過について主なる事項と結果につきまして御報告申し上げます。

議案第54号非常勤特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、まず議員以外の非常勤特別職の報酬改定についてはどのように考えているかをたどしましたところ、昭和60年度の当初予算で御審議願う考えでいるとの答弁がありました。

さらに、他の非常勤特別職の月額報酬についても議員と同一時に提案すべきであるかと思うがどうかとたどしましたところ、議員の報酬については特別職報酬等審議会の審議を経なければならないということで他の特別職とは性質が違うので別扱いにすべきと考え、従来からもこのように行っているとの答弁がありました。

以上の審議の中で、昭和59年10月1日の施行を昭和60年4月1日とする修正案が同僚議員2名から提出され、慎重なる審査を行いましたところ、全員一致をもって修正案を可決し、修正案を除く部分についても全員一致をもって原案どおり可決いたしました。

次に、議案第66号千葉県自治センター規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について及び議案第69号昭和59年度館山市一般会計補正予算については慎重なる審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきものといたしました。

以上のとおり、審査の概要及び結果を申し上げましたが、満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げ、委員長報告とします。

○議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

### 討 論

○議長（石井 正君） これより討論に入ります。

通告がありますので、発言を許します。

1番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1番議員神田守隆君登壇）

○1番（神田守隆君） 議案の第54号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について反対の討論をいたします。

議員報酬の引き上げ問題でございますが、わが党は今回の議員報酬の引き上げ問題について議員の報酬は安ければ安いほどよいという見地に立つものを示すものではありません。議員報酬に対するわが党の立場は、地方政治の分野でも行政が複雑化している現状のもとで住民を代表する議員はその職責を果たすためには専門的な知識が必要であり、非常勤特別職とはいえ議員活動それ自体が職業化せざるを得ません。したがって、報酬はその地域における勤労者の平均的な給与と議員としての調査研究活動費用であると考えております。また、このような報酬の水準の保証が経済的な理由による事実上の被選挙権の制約をなくしていることも重要なことだと考えます。

しかし、そうは言っても、議員の報酬額を具体的に決めるにあたっては地域住民多数の同意を得られるものでなくてはならないことは言うまでもありません。事実、多くの市民の同意が得られないためにわが党は今回の

報酬引き上げに反対するものであります。

いま、必要なことは、市議会の活動が市民の代表として十分に市民の理解をするものとなるのかどうかということです。残念なことに多くの市民の理解が得られていないわけで、これは現在の議会活動そのものに責任があると思います。

議会 は市民の代表機関であります。その活動内容が市民によく理解されるよう議会はみずからの広報を発行すべきだと考えます。すでに、安房郡下においても天津小湊町、千倉町、鋸南町においてもそのような努力がなされております。また、議会の議事録はいつでも住民の閲覧ができるように市の図書館などに備え、また一般にも広く頒布するなど議会活動が市民に理解されるよう検討するべきであります。

さらに、また報酬審議会の構成について、青年層を含め広く市民の代表を加えること、会議の公開制など、その民主化を要求いたします。

以上の点を主張し、反対討論といたします。

次に、議案の第69号昭和59年度館山市一般会計補正予算第3号についてであります。

補正の各項目については賛成すべき点もございますが、道路用地購入費1015万5000円には半澤市政の基本姿勢に係る重大な問題点があり、この補正予算に反対をいたします。

この道路用地購入は、株式会社エヌ・エム・ビー・セミコンダクター社の進出という開発行為に伴う市道新道線、山台線の拡幅などのための用地購入費であります。市の開発指導要綱には、開発にあたって幹線道路との取り付けは幅員6m以上とすることとし、その費用は事業者において負担すべきものとしていますが、これは当然のことであります。ところが、今回の市道拡幅の道路用地の購入は市、すなわち市民の税金で負担しようとするもので、市自身の開発指導要綱の趣旨に反するものと言わなければなりません。開発行為によるものではなく、すでに長年市民の生活道路として利用されてきた市道の拡幅にあたってさえ市は用地購入費を負担せず、地元住民の無償提供などに頼っているのが現状でございます。どうして株式会社エヌ・エム・ビー・セミコンダクター社のためにはこれだけの特別扱いをしようとするのか絶対に認めるわけにはまいりません。

議案第68号の市道認定とともに、この問題は県の強力な指導があったとはいえ、市長の政治責任はぬぐえません。半澤市長が大企業優先の政治姿勢を示したものとして厳しく批判するものであります。大企業優先ではなく市民生活を第一とする市政を強調しまして、私の反対討論といたします。

○議長（石井 正君） 以上で、1番議員君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わります。通告をしない議員で討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第54号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は修正であります。

本案を委員長の報告どおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって本案は委員長の報告どおり可決されました。

次いで、議案第66号千葉県自治センター規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって議案第66号千葉県自治センター規約の一部を改正する規約の制定に関する協議については原案どおり可決されました。

次いで、議案第69号昭和59年度館山市一般会計補正予算について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。



本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって議案第69号昭和59年度館山市一般会計補正予算は原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

○議長(石井 正君) 日程第2、議案第67号及び議案第70号の各議案を一括して議題といたします。

#### 文教民生委員会委員長報告

○議長(石井 正君) ただいま議題となりました各議案はともに去る12月18日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長石井武敏君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長石井武敏君登壇)

○文教民生委員会委員長(石井武敏君) 御報告を申し上げます。

去る18日の本会議におきまして文教民生委員会に付託をされました議案第67号及び議案第70号につきましては、去る19日に委員会を招集いたしまして、慎重にこれを審議いたしました。その結果並びに主な経過を御報告いたします。

まず、議案第67号につきましては、全員一致をもちまして原案どおり可決をいたしました。

次に、議案第70号に関しましては、高額医療費が当初予算よりふえた理由について説明を求めましたところ、医療の高度技術というものが考えられる、また高額医療費の補正の中には退職者医療制度のものは含まれていない等々答弁がありました。

また、退職者医療制度の創設により国庫補助金が削減され、国保会計から今年度4600万円の補正を行って支出しているが、このことについて国の財政措置の見込みにつきましてただしましたところ、厚生省の話では59年度にはその差額について補償するということであるが、具体的な率

については聞いていないと説明がありました。

本議案につきましては全員一致をもちまして原案どおり可決すべきものと決しました。

以上をもちまして委員長報告といたします。

○議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。通告はありませんでした。討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（石井 正君） これより各議案を一括して採決いたします。

議案第67号及び議案第70号について委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって議案第67号及び議案第70号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

### 議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第3、議案第68号及び議案第71号の各議案を一括して議題といたします。

### 建設経済委員会委員長報告

○議長（石井 正君） ただいま議題となりました各議案はともに去る12月18日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長石井 謀君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長石井 謀君登壇）

○建設経済委員会委員長（石井 謀君） 御報告を申し上げます。

去る12月18日本会議におきまして建設経済委員会に付託されました議案第68号及び議案第71号について、同日午後1時より建設経済委員会を招集し、全委員出席のもとに議案の審議を行いました。

議案につきましては、それぞれ慎重に審査し、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以下、委員会における審査の経過について主な事項を申し上げます。

議案第68号市道路線の認定についてであります。その理由をただしたところ、山本地区に進出したエヌ・エム・ビー・セミコンダクター社から工場建設の宅地等開発行為の許可申請が出され、県が許可をするにあたり、開発区域内の計画道路の中を数本の里道が入っており、これを企業の道路とした場合に里道が分断されては住民に不便をかける結果となるのでできる限り早い機会に市道に認定するよう県の指導があり今回お願いをした旨の答弁がありました。

続いて、企業以外に住民の利用はあるかと説明を求めたところ、里道があるので住民も利用すると考えられる旨の説明がありました。

次に、議案第71号昭和59年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算の内容についてただしたところ、収入170万円については売店の売上収入の伸びであり、支出のうち賃金65万6000円については、応接員のうち本年度正職員に予定した職員が退職した関係でその分をパート職員によって補うための賃金の増である旨の答弁がありました。

次に、売店材料費について尋ねたところ、売店の売り上げの伸びに伴う仕入代金の増である旨の答弁がありました。

続いて、売店の売り上げの伸びについて説明を求めたところ、4月から価格は高いが郷土のみやげ——唐棧織、里見焼などを置くようにした結果である旨の説明がありました。

以上で建設経済委員会に付託されました議案について概要を御報告申し上げます。何とぞ満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして建設経済委員会委員長のご報告といたします。

○議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

## 討 論

○議長（石井 正君） これより討論に入ります。

通告がありますので、発言を許します。

1 番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1 番議員神田守隆君登壇）

○1 番（神田守隆君） 議案の第 6 8 号市道路線の認定に反対の討論をいたします。

この市道蕨台七曲線は山本地区に進出する株式会社エヌ・エム・ビー・セミコンダクター社の工場敷地内に予定されているものであり、進出企業のための道路であり、公道として市道認定すべきものではありません。

特に、この市道の予定地は危険な急斜面で市の地震対策基礎調査でも那古山などと並んで市内で最も崩壊危険度の高い A とランクされています。こんな危険なところにこれまた崩壊しやすい構造物である道路をつくるのですからその危険性は重大であります。

さらに、ここは谷底が大正池という市内最大のため池となっており、崩壊が起きた場合、堰堤の決壊などの二次災害が心配されます。

こうした大変に危険な道路を市道として認定しようとすることは、本来企業が負うべき安全上の責任を市が肩がわりするものと言わなければなりません。

本来、公道たる市道は公共のために供せられるべきもので、特定大企業の便宜のために供せられるべきではないと考えます。

以上の点を主張いたしまして、反対の討論といたします。

○議長（石井 正君） 以上で 1 番議員君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わります。

通告をしない議員で討論ございませんか。——討論なしと認めます。よって討論を終結いたします。

## 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第 6 8 号市道路線の認定について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(石井 正君) 起立多数であります。よって議案第68号市道路線の認定については原案どおり可決されました。

次いで、議案第71号昭和59年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって議案第71号昭和59年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算は原案どおり可決されました。

#### 継続審査について

○議長(石井 正君) この際申し上げます。

去る12月18日の本会議において総務委員会に付託されました請願第7号国鉄の「分割・民営化」に反対し、国鉄の存続を求める請願書、陳情第3号土地価格の評価替えによる固定資産税の増税を中止する陳情書及び文教民生委員会に付託されました請願第8号と畜場存続に関する請願書について、各委員長から会議規則第75条の規定により閉会中の継続審査とされたい旨の申し出がありました。

お諮りいたします。請願第7号、陳情第3号及び請願第8号を各委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査といたしますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって決定いたしました。

#### 請願書の上程

○議長(石井 正君) 日程第4、請願第6号及び請願第9号の各請願書を一括して議題といたします。

## 文教民生委員会委員長報告

○議長（石井 正君） ただいま議題となりました各請願書は去る12月18日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各請願書に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長石井武敏君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長石井武敏君登壇）

○文教民生委員会委員長（石井武敏君） 御報告を申し上げます。

請願第6号及び第9号につきましては、19日に文教民生委員会を開きまして慎重に審査をいたしました。

以下、審査の結果及び主な事項につきまして御報告を申し上げます。

まず、請願第6号につきましては、現在社会科の教科の中で租税教育はどのように行われているか教育委員会に説明を求めましたところ、中学3年では社会科の授業としては年間105時間あり、そのうち公民的分野の中で3時間が直接租税に関する授業が行われている、授業内容としては税の使い道、国家財政と地方財政、税の種類と特色等が取り上げられている旨説明がありました。

本請願につきましては、現在の学校教育は詰め込みといわれており、時間をふやすのは教育上の観点から問題があるとして反対討論がありました。採決の結果、賛成多数をもちまして採択すべきものと決しました。

続きまして、請願第9号でございますが、これにつきましては事態の推移をよく見て検討すべきであるとして反対討論がありました。

採決の結果は、賛成少数をもちまして不採択とすべきものと決しました。

以上が審査の経過並びに結果でございます。満場の諸氏の御賛同をいただきたいと思います。以上で委員長の報告といたします。

○議長（石井 正君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。通告はありませんでした。討論はございませんか。——討論なしと認めます。よって討論を終結いたします。

## 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は分割して起立により行います。

請願第6号についての委員長の報告は採択であります。

請願第6号を委員長の報告どおり採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって請願第6号は採択すべきものと決しました。

次いで、請願第9号について採決いたします。

請願第9号についての委員長の報告は不採択であります。

請願第9号を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって請願第9号は不採択と決しました。

## 議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第5、議案第72号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

○議長（石井 正君） 朗読は終わりました。

## 議案の内容説明

○議長（石井 正君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 議案第72号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について提案理由の説明を申し上げます。

本年8月10日付の人事院の勧告に基づきまして、国家公務員の給与改定が現下の経済社会情勢、厳しい財政事情、世論の動向等を総合的に勘案

し、約3.37%に抑制されようとしております。

本市におきましても給料表、諸手当につきまして国に準じ一般職員の給与を、職員の士気、生活への影響等も考慮して改定し、本年4月1日にさかのぼって適用しようとするものでございます。

改正の内容は、一般職員に適用する給料表、その他扶養手当、住居手当及び通勤手当の額を改定しようとするものであります。

また、清掃センターの稼働等により清掃センターに勤務する職員等に支給する特殊勤務手当の一部を改めるものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○議長（石井 正君） 説明は終わりました。

#### 質 疑 応 答

○議長（石井 正君） 御質疑を願います。

（2番議員田沢勝信君登壇）

○2番（田沢勝信君） 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定に関して御質問いたします。

年内支給に向けた市長の努力は評価したいと思うわけですが、その引き上げの額につきまして、人事院勧告が6.44%にもかかわらず市の引き上げは3.37%と非常に遺憾であります。そういう意味から何点か御質問いたします。

国際労働機関は日本の公務員が労働三権が大きく規制され、その代償措置として人事院勧告の完全実施、そのことを労働組合権として認識しているわけですが、今回の館山市の人事院勧告を無視した3.37%の引き上げはその労働組合権を大きく制限したものにならないのかどうか、市長の所見をまず第1点目にお聞かせ願います。

次に、第2点目でございますが、今年すでにILOは、今年度も人事院勧告が実施されないならば公務員に対しILO98条、団結権と団体交渉権条約で定められた権利保護を確実にするため、政府は賃金と労働条件を決める手続きと機構を再検討するべきだ、そのような勧告を行っております。市長につきましては、この労働組合権が制限されている、そのような認識に立つならば、市長として政府が人事院勧告の制度、機構そのものを



再検討すべきだ、そのように考えておられるのかどうか、お聞かせ願いたいと思います。

3点目に、この労働組合権が制限されたものでない、そういう認識に万が一立つとすれば、これは明確に人事院勧告が完全実施される——数年後には完全実施される、そのような明確な見通しが立って初めて言えるわけであります。したがって、市長が聞かれている、政府が今後どのような年限で、またどのような時期に完全実施をしようとしているのか、その辺はどのように伺っているのか、お聞かせ願いたいと思います。

以上、3点について御質問を申し上げます。

○市長（半澤良一君） 田沢議員の御質問にお答えをいたします。

人事院という存在が、労働組合の労働権を制限している、それに対する代償という意味でつくられている、そして勧告が行われていることについては承知をいたしております。

今回の人事院勧告につきましても、千葉県市長会といたしまして関東市長会を通じて全国市長会にその完全実施を要望したところでございますが、現実にはそれが実らなかったわけでございます。

われわれがこの給与を改定いたします場合には、やはり国のいろいろな指導がありますし、また国の指導に従わなかった場合にそれに対するペナルティもございます。やはり国の指導に従わざるを得ない、それが実情でございます。

それから、何年後に完全実施されるかということについては、公式な発表等は聞いておりません。

○1番（神田守隆君） 人事院勧告の問題についてはいまお話がございましたから、少し細かいことになりますけれどもお尋ねいたします。

1つは、今度の給与是正については、市の職員の給与是正をするということの内容は出ているわけですが、たとえば市の委託先——社会福祉協議会に市民センターの委託とか、あるいは福祉作業所の職員の委託とか、こういう形で委託をしているわけです。こうした職員については今度の給与是正という問題はどのように考えられておられるのか。そういう委託費等ということで、その中で人件費は含まれておりますから、人件費についての見直し等どういふふうになっておるのか。それが1点。

それと、清掃作業従事手当の内容ですが、清掃作業従事手当の支給を受ける者の範囲がかなり文章的に見ると大幅に変わるというふうに理解をするわけなんです、言葉の意味そのものでもちょっとよくわからないものですから、まず清掃作業従事手当で今回の改正で——新しいいろんな施設等ができました、そういう関係もございましょうから、実態としては支給人員が旧の条例のもとではどうで、新しい条例になるとその適用の対象が人数的に端的にふえるのか。従来と同じだと、ただ言葉の言い方が変わったという理解なのか。内容的に違わないんだとすれば、たとえば「廃棄物の中間処理」という言葉が出たり、「環境施設センター職員」という言葉が出てきたり、新しい言葉も出てきておりますので、そういうことも御説明をいただきたいと思うんです。

それから、鳩山荘の従事手当ということで、ボイラー業務に関する職員については新たに拡充をしようという趣旨だろうとは思いますが、その点について従来支給されなかったけれども、今回支給するという事で考えていいのかどうか。

以上、御説明願います。

○総務部長（川畑喜代志君） 神田議員の御質問にお答えをいたします。

第1点目の、市の業務委託している先の給与改定の問題ですけれども、市が契約等をもちまして正規委託をしているものにつきましては、人件費をもっているものにつきましては、市の給与改定に合わせて改定することになろうかと思えます。

第2点目の、清掃作業手当の関係ですが、実態的には変わっておりません。ただ、若干変わりましたのが、「環境施設センター職員で専ら事務に従事する職員」ということで、500円ということでそういう規定をするわけですが、いままで現場でやっておった方につきましては従来どおりですが、事務につきましては現場ほどの不快感等はないであろうということで若干下げさせていただいた。これは現場の方もよく承知をしておるところでございます。

第3点目の、鳩山荘の関係でございますが、従前は鳩山荘に勤務する方は支配人を除いては7000円ということで支給されておりました、そのほかボイラーに従事する方は3000円が出ていまして、今回はそれを一

本化したということでございますので、実態は変わっておりません。

以上です。

○1番(神田守隆君) 実態は変わっていないけれども、一部の人は変わったという話なんで、どういうふうにお考えなのか聞きたいと思います。

環境施設センターというのは、出野尾の施設のことだと思いますので、従来、正木の処理場から移転するということになりますと、非常に交通手段等大変なところで、自動車等に乗って行く方の通勤手当等の関係もあるでしょうし、またバス等の手当なんかも当然通勤手当の中でそれは出ると思うんです。それでもやはり従来から見れば遠隔の地になるわけで、従来よりも通勤時間が30分、1時間ふえたという方もかなり多いんじゃないかと思います。ああいうところになったということで、そうした面の配慮というのは——こうした手当の中では、事務という事柄に着目して結果的に下げてしまったということになるわけですから、逆に通勤の困難性とか、そういった点からの配慮というものは今回の中では何か配慮されてあるのかどうかお聞かせ願いたいと思います。

○総務部長(川畑喜代志君) 今回、お願いしてありますのは、あくまでも特殊勤務手当ということでございますので、勤務の特殊性に着目して改正したわけでございます。通勤先がちょっと遠くなった方もおられるかもしれませんが、それはあくまでも通勤手当で対処するものと考えております。

○議長(石井 正君) 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

○議長(石井 正君) お諮りいたします。

本案については委員会付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 正君) 御異議なしと認めます。よって委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はございませんか。——討論なしと認め

ます。よって討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（石井 正君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって本案は原案どおり可決されました。

### 議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第6、議案第73号乃至議案第75号昭和59年度一般会計及び特別会計補正予算を一括して議題といたします。

各議案の朗読は省略いたします。

### 議案の内容説明

○議長（石井 正君） 各議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 議案第73号昭和59年度第山市一般会計補正予算第4号につきまして提案理由の説明を申し上げます。

歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ8218万3000円を追加し、総額98億5679万円としようとするものでございます。

この内容といたしましては、先ほど御説明申し上げました給与改定に伴うもので、各款にわたる人件費の補正でございます。当初予算に改定分を計上してありませんでしたので、今回この改定額等について補正しようとするものでございます。なお、この補正財源といたしましては、全額繰越金をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第74号及び議案第75号の昭和59年度各特別会計に係る補正予算につきましては、一般会計と同様に給与改定に伴う改定額等について補正しようとするものでございます。なお、これらの補正財源といた

しましては、繰越金及び県支出金をもって充当しようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○議長（石井 正君） 説明は終わりました。

### 質 疑 応 答

○議長（石井 正君） 御質疑願います。

○1番（神田守隆君） 先ほど給与条例の中でお尋ねいたしました委託費等の関係ですけれども、先ほどの御答弁では市民センターとか福祉作業所——私、ぱっと出てこないんですが、さらに私立の保育園とか、こういうものが出ていると思いますが、こういうところの人件費は——これは契約を見直してというんですけれども、実際に予算上は何ら出てきていない。ということは、実際には実行不能なんじゃないかと思いますが、目下予算措置は今回の中には入っていませんね。また、そういうようなものというのはどういうふうに措置が実際できるんですか。

○総務部長（川畑喜代志君） 今回、お願いしてあります補正予算は、あくまでも市の職員の給与改定分でございます。委託先等の給与改定につきましては、今後委託先の方で検討されると思いますので——委託先につきましては、新年度からということが通常のようにございますので、それは新年度予算でもって対応していくということになろうかと思います。

○1番（神田守隆君） そうすると、新年度からというので、考え方としては委託先の方の給与というのは人事院の勧告というか、給与改定、これについては1年遅れでやっていく——結果的にそういうことにならざるを得ないんじゃないかというふうに思うんです。私立の保育園なんかでも経営が大変厳しいということを伺っておるわけで、そういう点から見るともう少し考えなきゃならぬのじゃないかなというふうな気がするんですけれども……。

○総務部長（川畑喜代志君） 従来からそういう形で仕事をお願いしてきたということであります。

○議長（石井 正君） 他に御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって委員会の付託を省略することに決しました。

これより各議案を一括して討論を行います。討論ございませんか。——  
討論なしと認めます。よって討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（石井 正君） これより議案第73号乃至議案第75号の各会計補正予算を一括して起立により採決いたします。

各議案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（石井 正君） 起立多数であります。よって議案第73号乃至議案第75号の各会計補正予算はいずれも原案どおり可決されました。

### 議案の上程

○議長（石井 正君） 日程第7、議案第76号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

○議長（石井 正君） 朗読は終わりました。

### 議案の内容説明

○議長（石井 正君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 議案第76号人権擁護委員候補者の推薦についてでございますが、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づきまして、11月30日任期満了となりました人権擁護委員1人の候補者の推薦を求め

られておりますので、引き続き森 信次さんを最適任といたしまして御推薦申し上げ、御承認いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

○議長（石井 正君） 説明は終わりました。

御質疑を願います。御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

#### 委員会付託の省略

○議長（石井 正君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。

#### 採 決

○議長（石井 正君） よって、これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 正君） 御異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決されました。

#### 閉 会 午前 11 時 15 分

○議長（石井 正君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第 4 回市議会定例会を閉会いたします。

#### ○本日の会議に付した事件

- 1 議案第 54 号、議案第 66 号乃至議案第 76 号
- 1 継続審査について（請願第 7 号、請願第 8 号、陳情第 3 号）
- 1 請願第 6 号、請願第 9 号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長 石 井 正

館山市議会議員 石 井 謀

館山市議会議員 松 下 正 己